

東日本大震災などを踏まえ講演する
仙台建設業協会の深松努会長

村山市・甌葉プラザ

りについて

「手技術者の

会



安全安心なまちへ

建設業者の役割は

村山でセミナー

北村山建設業振興協議会（大山圭介会長）などが主催する「地域の安全で安心な明日のまちづくりセミナー」が19日、村山市

の甌葉プラザで開かれた。関係者約170人が集まり、講演を通して、災害時に建設業が担う

役割について理解を深めた。

仙台建設業協会の深松努会長が「災害時の連携と技術の継承・若手技術者の育成」をテーマに講演した。東日本大震災発生直後からの復旧・復興状況を説明し「中心的役割を担うのは建設産業。この技術集団の業者が減った地域は、人々の暮らしを守るができない」と指摘した。

また、同協会が災害時の応急対応や公共施設の点検・診断・維持管理といった業務の共同受注などを担うことを目的に設立した「杜の都建設協同組合」に触れ「今後は後継者の育成も含めて、官民一体となった取り組みが必要」と述べた。

講演に先立ち、同協議会の活動などを紹介した映像上映も行った。